【資料2】

＜募集要項＞
令和８年度
地域戦略人材塾

大正大学　地域構想研究所

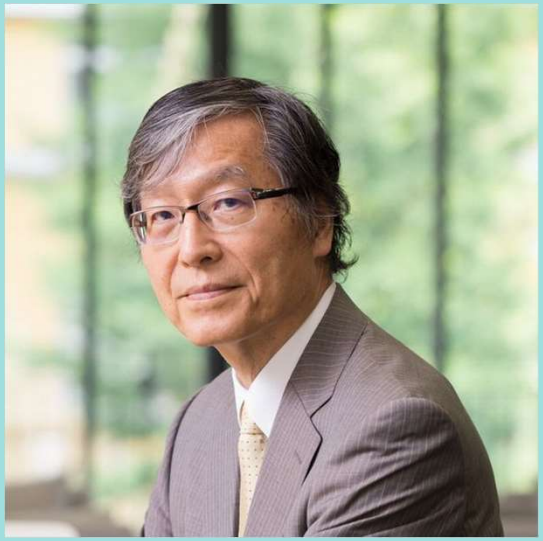


令和8年10月更新

大正大学
スガモで育む日本の未来。

塾長挨拶

この塾は、各自治体の垣根を超えて学びあうことにより、政策の選択肢を豊かにすることによって地域創生をサポートすることを目指しています。
2026年度は「賢く縮む（スマートシュリンク）」を大括りのテーマとしています。これは、人口の減少を所与として、人口が減っても地域に住む人々のウェルビーイング（豊かさ、福祉）を維持し、さらには高めて行こうという考えです。地域創生を考えていく上で避けて通れない課題であり、近年広がりつつある政策スタンスです。
皆さんの積極的な参加をお待ちしています。



小峰　隆夫
大正大学　地域構想研究所
客員教授



1．目的

本塾のテーマ

人口が減っても地域の豊かさを保つための「賢く縮む地域づくり」を学ぶ

- 「人口減少に歯止め」から「賢く縮む」へと転換しつつある地域創生の流れを理解する
- 賢く縮むための課題として、公共施設の再構築、自治体DX、フューチャー・デザインなど、実践的手法を体系的に学ぶ
- 他自治体との対話と協働を通じ、人口減少を前提とした地域づくりの「次の一手」を構想する機会とする



2．内容

今年度は、これまでの受講の内容から一部を組み替え13回の講義でお届けします。

自治体の職務に役立つものや、より先端的手法を学ぶことで、各自治体の課題解決に向けた実践知を身に着けることを目的としています。また、各教科の分野について造詣の深い専門家を招聘したり、自治体の具体的な事例を紹介していきます。



3．参加自治体からの声

- これまで新聞や雑誌の記事に目を通していても読み飛ばしていた内容や言葉が、この研修を受講したことで、目に留まる記事が多くなり、学んだことが政策に役立てるのではないか、という思考をするようになった。
- 最新の内容をうかがい知ることができ、見識が広がった。自治体職員は普段他の自治体の方々と話す機会がほとんどなく、今回の全国の人材塾の方々と話すことが新鮮で、良い刺激になった。グループワークの時間の雑談がとても楽しく、自治体職員仲間の輪が全国にできた気がした。話しやすかったです。
- 日々目の前の日常業務に追われている者にとって、先進的な初めて聞くお話が多かったが、わかりやすく解説してもらったので内容は理解できた。
- 他の自治体の皆さんとのワークで、その取り組みが自自治体でも生かせそうな内容があり、現業に活用できそうに思える。ただ、そのツールをどうやって現場に落とし込んでいったか（ノウハウやそのプロセス、持って行き方）を失敗例も含め情報共有して頂ければありがたい。



４．受講方法

（１）講義時間

平日(水曜日)の業務終業後約90分を１コマとする。

（２）実施時期

５月～２月の月2回程度開催

（３）受講形式

オンラインによる講義が基本でグループワークを含む。

受講方法およびZoomのURLは申込者にメールで別途お知らせ。



大正大学
スガモで育む日本の未来。

5．講座スケジュール

令和8年度「地域戦略人材塾」講義スケジュール　　2026年10月14日 更新

❶	5月27日	開会式 これからの地域創生をどう考えるか	ミニ基調講演 「スマートシュリンクと自治体」	大正大学地域構想研究所 片山 善博 所長
賢く縮む ―人口減少を前提としたまちづくり―				
❷	6月10日	人口減少下における地域と経済	新しい地域創生の向かう方向性、経済・人口動態の最新データをもとに、人口減少下で自治体が取るべき基本戦略を整理します。	大正大学地域構想研究所 小峰 隆夫 客員教授
❸	6月24日	自治体間情報交換（所長との対話会含む）		大正大学地域構想研究所 片山 善博 所長
将来に必要な公共施設とは？				
❹	7月8日	公共施設の再編あるいは統合	老朽化・財政制約の中、公共施設をどう再編すべきか。先進自治体の意思決定プロセスを学びます。	浜松市役所 財務部 アセットマネジメント推進課 北嶋 敏明 課長
❺	7月22日	岐路にたつ公共施設を考える		宮城大学事業構想学群地域創生学類 上森 貞行 准教授
自治体DX				
❻	9月9日	自治体の業務見直し、削減（BPR）や共同化に向けて	自治体の日常業務がひっ迫してくるなか、そもそもその業務は必要か、手順は適正なのか等の抜本的見直し（BPR）や、業務処理の共同化等により、浮いた時間を地域独自の施策に向けるなど、トランスフォーメーションの具体例を示しながら学びます。	CocreCoコンサルティング合同会社 総務省地域情報化アドバイザー 原 秀樹 代表
❼	9月30日 ※第5週	BPRによる業務改革の実例		常滑市役所 企画部 企画課 主事 石川 扇帆
人口減少下の地域の将来をデザインする				
❽	10月14日	未来から考える思考FDの必要性	将来世代を考える「フューチャー・デザイン」を学び、市民協働によるまちづくりへ実践的に活かす視点を養います。	大正大学地域構想研究所 西條 辰義 客員教授
❾	10月28日	フューチャー・デザインの基礎理論 &実践		
❿	11月11日	フューチャー・デザインの実践		岩手県矢巾町教育委員会事務局 学校教育課長 高橋 雅明
先進地の視察				
⓫	1月14日(木)～15日(金)	賢く縮むまちづくり事例 ～岡山県美咲町を視察～	“賢く縮むまちづくり”を掲げ、公共施設の再編・統廃合を重ねながら「小規模多機能自治、多世代交流拠点」等の実践の地である岡山県美咲町を訪問します。	大正大学地域構想研究所 事務局
特別公開講座				
⓬	1月下旬	特別公開講座		
⓭	2月中旬	意見交換会		

◆2026年10月現在の予定です。変化の激しい世の中に対して、適時時勢に合わせて変更となる場合がありますこと、ご了承ください。
※年度後半の講義内容詳細および日時は順次確定する予定です。

◆基本、平日（水）を中心に実施しています。

◆研修方法：オンラインによる講義が基本でグループワークを含む。受講方法およびZoomのURLは申込者にメールで別途お知らせします。



大正大学
スガモで育む日本の未来。

６．受講資格

　原則として、本学と包括連携協定を締結している自治体または地域共創コンソーシアムに加盟の自治体で、当該自治体の将来を担う若手及び中堅の職員

　募集人数：　20自治体程度（科目ごとの単科参加も可能）



大正大学
スガモで育む日本の未来。

7．申し込み方法

以下のいずれかの方法にて受け付けております。

▼下記のHP下部に記載フォームよりお申込みください。
https://forms.office.com/r/ts8qhMWhm4
または右記のQRコードよりお申込みください。

▼メールでお申し込みの場合

宛先：chikouken_jinzaijuku@mail.tais.ac.jp

「＿」アンダーバー入ります

件名：【申込】令和8年度地域戦略人材塾
内容：以下の項目について、それぞれご記載ください。
１．自治体名　２．受講者所属部署　３．受講者氏名
４．メールアドレス　５．電話番号　６．その他ご連絡事項



大正大学
スガモで育む日本の未来。

8．その他

申し込み締切	令和8年4月10日（金）（随時受付中）
受講料	**¥50,000(税込)／１自治体（別途振込手数料負担）** ※申し込み後、4月末に振込先口座等の支払方法をご案内します ※本学と未連携の自治体は¥80,000(税込)
問合せ	〒170-8470 東京都豊島区西巣鴨3-20-1 大正大学 地域構想研究所　　担当　山本恭久 TEL　：　03-5944-5482 FAX　：　03-5394-3055 Mail　：　chikouken_jinzaijuku@mail.tais.ac.jp 「＿」アンダーバー入ります



大正大学
スガモで育む日本の未来。